

# 瀬目トンネル検討委員会

日 時 : 平成17年6月1日(水)

9:00~11:30

場 所 : KKR熊本1F 天草会場

## 会 議 次 第

### 委員会

1. 開 会
2. 資料説明
3. 委員長挨拶
4. 議事
  - ・ トンネルの設計・施工の経緯
  - ・ トンネル変状調査結果
  - ・ トンネル周辺の地質調査結果
  - ・ 変状原因
  - ・ 調査について
  - ・ 対策について
  - ・ 今後のスケジュール
5. その他
6. 閉会

## 瀬目トンネル検討委員会

### 設 立 趣 意 書

付替国道445号瀬目トンネルにおいて、平成12年10月にトンネル側壁のコンクリート剥離が発見され、道路管理者である熊本県と川辺川ダム砂防事務所は共同で調査、応急対策を実施してきたが、原因の特定に至っていない。

このため、通行の安全を確保する上から、トンネルの変状原因の特定及び現状の対策の確認、トンネル監視体制、対策の必要性・今後の調査にあたり、高度で広範囲な専門的知識を有する学識経験者・専門家等の意見を反映させるための委員会を設置するものである。

## 瀬目トンネル検討委員会 委員名簿

氏名	所属・役職名
こんだ とおる 今田 徹	東京都立大学 名誉教授
おくぞの せいし 奥園 誠之	九州産業大学 工学部 都市基盤デザイン工学科 教授
ひらの いさむ 平野 勇	独立行政法人 土木研究所 地質官
ましも ひでと 真下 英人	独立行政法人 土木研究所 基礎道路技術研究グループ トンネル上席研究員
ふじさわ かずのり 藤澤 和範	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべり上席研究員
たなか せいや 田中 誠也	熊本県 土木部 道路保全課長
にしやま たかし 西山 隆司	熊本県 球磨地域振興局 土木部長
あさほり やすあき 朝堀 泰明	国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長

# 第1回瀬目トンネル検討委員会審議要旨について

日時 平成17年6月1日 午前9時～11時30分

場所 KKR熊本 天草の間

出席者

今田 徹委員長、奥園 誠之委員、平野 勇委員、真下 英人委員、藤澤 和範委員

田中 誠也委員、西山 隆司委員、朝堀 泰明委員

議事	審議要旨
1、トンネルの設計・施工の経緯	<ul style="list-style-type: none"><li>・地すべり面が存在する可能性が分かって橋梁案よりトンネル案となっている。また、当時においてボーリング調査も多く行われている。当時のすべり面から3D（トンネルの直径の3倍）以上離れた設計は当時の判断としては間違っていない。</li><li>・トンネルの施工は施工実績によると地質状況を反映させて必要なインバートを施工するなど適切な施工がなされていると判断される。</li></ul>
2、トンネル変状調査結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・トンネルの変状状況については、地盤の動きがその要因と考えられる。変状の進行は落ち着いているようにもみえるが、わずかであるが進行していると考えべき。</li></ul>
3、トンネル周辺の地質調査結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・トンネル周辺の地盤変動の兆候が確認できる。</li><li>・地盤変動の詳細を今後調べていかなければならない。</li></ul>
4、変状原因	<ul style="list-style-type: none"><li>・地盤の変動とトンネルの変状は関連性が認められ、地盤の変状が関係している可能性が高い。</li><li>・さらに詳細な調査を行う必要がある</li></ul>
5、調査について	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラックの観測、内空変位計測等により変状の状況は適切に把握されている。</li><li>・さらに地盤変動との関係を明らかにするため3次元的な計測を行う必要がある。</li><li>・今後も継続して観測を行う。</li><li>・アコースティックエミッション、支保工への変位計設置等について検討する。</li></ul>
6、対策について	<ul style="list-style-type: none"><li>・光ファイバーにより常時監視が行われている。また、支保工も設置している。このような措置により当面の安全は確保されている。</li><li>・新たに40スパンの対策が必要。</li><li>・金網のメッシュを小さくすると共に、設置範囲の拡大が必要。</li></ul>
7、今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>・調査、監視、応急対策（支保工・金網）について検討し、次回委員会に諮る。</li><li>・地盤変動の詳細については、別途設置する委員会で検討する。</li></ul>